

学校名 川口市立新郷東小学校
所在地 川口市大字峯361番地
電話 048-295-1007

1 本校の概要

本校は、新郷東部公園に隣接する立地にあり、校庭も広く、自然豊かな学校である。今年度50周年を迎え、「自ら進んで 一歩前進チーム新郷東」をキャッチフレーズに教育活動を行っている。

本校の学校図書館は第1図書館と第2図書館があり、それぞれを活用しながら、読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ環境や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じながら、貸出し業務を行った。また、日頃の取組は、HPでも配信している。

ア 読書タイム・読み聞かせタイム

月曜日の朝(10分間)、読書を行っている。併せて、読み聞かせボランティアの方にも「低・中ひまわり学級・高学年」の順で感染防止対策を十分に行いながら、読み聞かせを実施していただいている。また、第2図書館の活用として、図書委員による読み聞かせを低学年対象に実施した。

イ SDGs クイズ

昨年度からSDGs関連の本を増やし、SDGsコーナーを設置した。手に取る機会が増えるように、図書委員や4年生にSDGsクイズを考えてもらった。クイズと本をセットにし、答えを見つけながら、楽しんで本を読んでもらえるようにした。



ウ 読書郵便の取組

来館者を増やすことを目標に、読書週間に、おすすめの本を紹介し合う「読書郵便」の取組を行った。自分のおすすめの本を学年・学級、誰にでも紹介できる活動で、手紙におすすめポイントや好きな場面などの紹介文を書いて送り合った。



エ 季節や行事に合わせた学校図書館環境整備

廊下や学校図書館内の掲示を季節に合わせて整備した。児童が興味をもてるように、短冊を書いてもらったり、飛び出すポップで目を引いたりするなど工夫を凝らした。また、文化庁の事業で、「よだかの星」の講演に合わせて、宮沢賢治コーナーの設置、吉田沙保里さんのトークショーに合わせて吉田沙保里コーナーの設置など、行事と図書館とのつながりも意識した掲示物を作成した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 昨年度10月からバーコードを導入した。半年ごとの貸出冊数のカウントでは、1800冊→2300冊に貸出数が微妙に増えた。更に増えるように、読書週間を中心に取組を進めていきたい。
- ・ 「読書郵便」の取組で、本を通して全校児童間の交流が図られ、児童同士のつながりが広がってきた。

(2) 課題

- ・ 第2図書館の活用が読み聞かせにとどまっているので、更に活用方法を模索していく。